

# えりはらのぱんやさん

## 活動を通して学んだこと

障がい者支援施設「えりはら」の手作りパンの製品を企画し、PR動画を作成したり、販売促進に向けパンの開発や改善などを行います。また、毎月のフェアのチラシデザイン・図案作成等を行います。毎月第4金曜日は6号館のロビーにてパンを販売します。「えりはら」に行き、施設の見学や、施設の方との交流を行います。



TEAM DATA	メンバー数：10名
活動場所	志摩市
実施主体	社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会
担当教員	大井 智香子（現代日本社会学部）
活動年度	RO2

### 月別活動

- (12月)・PRボスター、チラシの作成  
・パン販売への参加



### 1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

えりはらのぱんやさんは令和2年度から始まった新規プロジェクトであり、10月から活動を開始しました。活動的目的是、1.皇學館大学内の販売促進、2.障がい者支援施設「えりはら」の利用者における皇學館大学内のパン販売の手伝いです。

1. 皇學館大学内での販売促進  
活動内容は、主に1手作りパンの製品を企画、2販売促進に向けパンの開発や改善、3毎月のフェアのチラシデザイン・図案作成等の3つです。

1、2について、施設で作られたパンやラスクを試食し、味の感想や面接設定を話し合いました。それを実際に販売時に反映していただきました。  
3について、チラシのデザインを作成し、それを学内で掲示するなどをして学内販売における宣伝を行いました。

2. 障がい者支援施設「えりはら」の利用者における皇學館大学内でのパン販売の手伝い

活動内容は、1宣伝やお客様への呼びかけ、2順番待ちの列への対応(作成したチラシを渡し、スマーズに購入してもらおう(作成にする)の2つです。

1、2ともにチラシを活用することによって利用者ができるだけ販売に集中できることに手伝いをしました。

○課題

1、2ともに共通する課題は、役割分担を早い段階に、かつ明確に行うことです。例えば、今回はデザイン案を決めることが運がつたため、チラシ作成を3日間という短い期間で作業に取り掛かるようになりました。また、役割がチラシ作成、学内掲示、販売時の客への呼びかけ、行列対策の4つほどだったので、今よりも役割を明確にし増やすことによって、なるべく全員で作業が分担できるようにならうにしたいと思います。

## 実施主体からのコメント

この活動を通して、他団体との協働、チームでの連携、記録・書類作成の仕方などを学びました。具体的には、定期的にミーティング・定例会を行い、チームのなかでチラシ作り班と販売班に分け、12月のパン販売に向け、自分たちができるることを考え、主体的に取り組んできました。



現代日本社会学部 大井 智香子  
担当教員より

現代日本社会学部 大井 智香子  
成果物／制作物



12月パン販売チラシ  
「えりはらのぱんやさん」  
12月販売  
日時：12月25日（火曜日）午後1時～3時  
場所：志摩市立図書館ロビー